

令和 7 年度 東京都立戸山高等学校

推薦に基づく選抜

小論文

注 意

- 1 問題は と で、4 ページにわたって印刷してあります。
- 2 と の両方とも、それぞれの解答用紙に答えなさい。
- 3 検査時間は 50 分で、終わりは 12 時 40 分です。
- 4 声を出して読んではいけません。
- 5 答えはすべて解答欄に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 6 答えは問題の指示に従って書きなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 9 文頭は 1 マス空けないこと。
- 10 句読点および「」などは 1 字に数え 1 マスに書きなさい。
なお、数字および小数点は 2 つで 1 字として 1 マスに書きなさい。

次の会話文を読み、あとの問いに答えなさい。

【会話文】

先生：先だって行われたアメリカ大統領選挙にちなんで、今日は 1861 年から始まったアメリカ最大の内戦、南北戦争について考えてみましょう。

生徒：アメリカの北部と南部が奴隷制をめぐる対立、戦争となり、第 16 代大統領のリンカンが奴隷解放宣言を行ったと学習しました。

先生：その通りです。では、奴隷制に賛成・反対する理由は何か、また、その他に北部と南部の違いはどのようなところがあるのか、資料を見て考えてみましょう。

生徒：北部と南部では盛んな産業、貿易政策やイギリスとの関係も異なっていたことが分かります。

先生：当時のイギリスは産業革命を経て工業国であったことに注目しましょう。また、国家が外国との商品の輸出・輸入において、関税などの制限や自国産業に対する保護を加える貿易を保護貿易といい、国内の産業を外国との競争から守る効果があります。国家による制限や自国産業に対する保護を加えない貿易を自由貿易といい、貿易量が拡大する効果があります。

問 1 資料 1～4 のうち必要な資料を活用し、会話文及び資料から読み取れる、北部と比較して南部で盛んな産業を答え、南部が有利となる貿易政策と南部における奴隷制の賛否について、100～120 字で述べなさい。

問 2 資料 1～4 のうち必要な資料を活用し、会話文及び資料から読み取れる、南部と比較して北部で盛んな産業を答え、北部が有利となる貿易政策について、100～120 字で述べなさい。

資料 1 南部と北部の比較（少ない方を 1 とした比率で表している）

	北部	南部
人口	2.5	1
鉄道（マイル数）	2.4	1
工場生産額	10	1
鉄生産	15	1
石炭生産	32	1
綿花生産	1	24

〔資料 2〕20 歳代・30 歳代の所得分布 「ビジュアル版近代のアメリカ大陸」 講談社 より作成

資料 2 1858 年 3 月 4 日 ジェームズ・B・ハモンド上院議員の議会発言

南部では、北部が生み出すことのできない作物、それも素晴らしい作物をいくつか栽培できるのです。……もしも3年間、綿花が全く供給されなかったら、どうなるでしょうか。誰もが想像できることはあえて言いませんが、これだけは確かです。あのイギリスは崩壊し、文明化された他の世界をもすべて巻き添えにするでしょう。綿花に戦いなどを挑んではいけないのです。地球上のいかなる勢力であれ、綿花と戦うことなどはできません。綿花は王なのです。……

手短かに言えば、あなた方が肉体労働者や機械工などと呼んでいる人々だって、奴隷ではありませんか。両者の違いといえば、われわれの奴隷は生涯にわたる身分であり、労働に対する補償が十分な点です。また、南部社会では奴隷でない人々は飢えることなく、物乞いの必要もなく、雇用の機会も過不足なく存在します。北部の労働者は日雇いで、保護や補償もほとんどなく、どの大都市の街角に行こうとも、いつでもその惨めな状況を証明できるではありませんか。

出典 「世界史史料」 岩波書店

資料3 アメリカ南部主要港とニューヨークからのイギリスへの綿花輸出 (1830～32年, 1853～55年)

1 バイル=500 ポンド (重量)

	1830～32年		1853～55年	
	バイル	%	バイル	%
ニューオリンズ	623,631	33.7	2,453,150	50.9
モービル	161,362	8.7	683,770	14.2
サバンナ	371,004	20.0	386,848	8.0
チャールストン	424,768	22.9	558,378	11.6
バージニア 注)	63,972	3.5	500	—
フロリダ 注)	—	—	43,709	0.9
ニューヨーク	189,701	10.2	654,360	13.6
その他	17,421	0.9	38,899	0.8
計	1,851,859	—	4,819,615	—

注) バージニアとフロリダは州内の主要港からの出荷量の合計

※ ニューオリンズ、モービル、サバンナ、チャールストン、バージニア、フロリダはアメリカ南部の都市

「19世紀アメリカ南西部における綿花プランテーション経営：遠隔地経営についての一考察」 より作成

資料4 アメリカの鉄および機械工業の発達

鉄道建設の進展のために、1850年代にイギリスから輸入したレールは、合計177万トン、鉄総輸入量345万トンの半ばを超えていた。この10年間の合衆国のレール生産量は、合計107万トン、鉄総生産量648万トンの約6分の1であった。つまり、鉄道建設用レールの輸入量は、合衆国のレール生産量を70万トン上回り、この比較だけに目をとどめれば、イギリスの鉄工業が、いかにもアメリカ鉄工業の強大な競争相手であり、それによってアメリカ鉄工業の発展を阻止していたかのように見えた。

出典 「世界各国史 アメリカ史」 山川出版社

2

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

空気のない真空状態で物体を落下させたとき、物体には重力のみがはたらき、自由落下運動を行う。しかし、空気中で物体を落下させると、物体には落下方向と逆向きの力（空気抵抗）と落下方向の力（重力）がはたらく。

空気抵抗による運動の違いを調べるために、同じ高さからアルミ皿を落下させる実験を、条件を変えて行った。図1はそのときの落下の様子を 0.05 秒ごとに記録し、まとめたものである。左から、アルミ皿 2 枚を重ねたもの、アルミ皿 4 枚を重ねたもの、アルミ皿 2 枚を丸めたものを落下させた記録である。

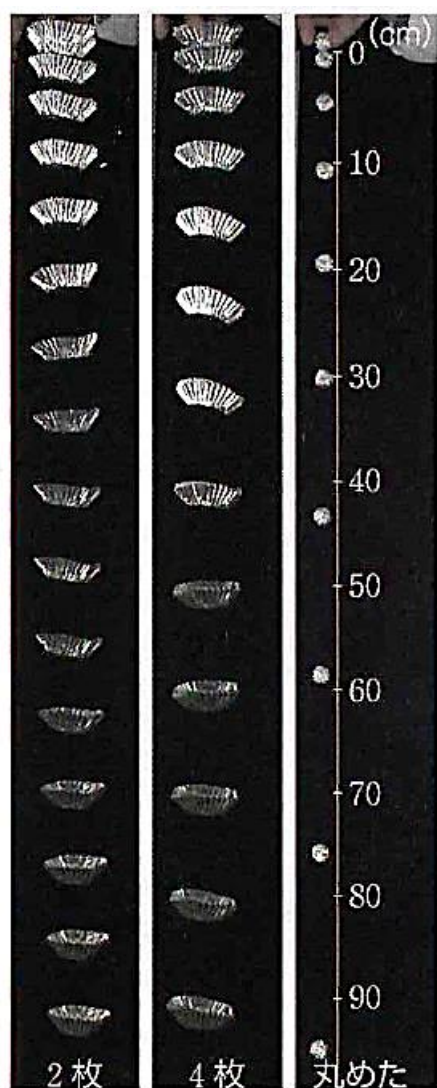


図1 同じ高さからアルミ皿を落下させた実験の記録

出典 「物理図録」 数研出版

図2は、アルミ皿が落下するときのそれぞれの速さの変化の様子を比較するために、横軸に時間[s]，

縦軸にアルミ皿が落下するときの速さ〔cm/s〕をとったグラフである。

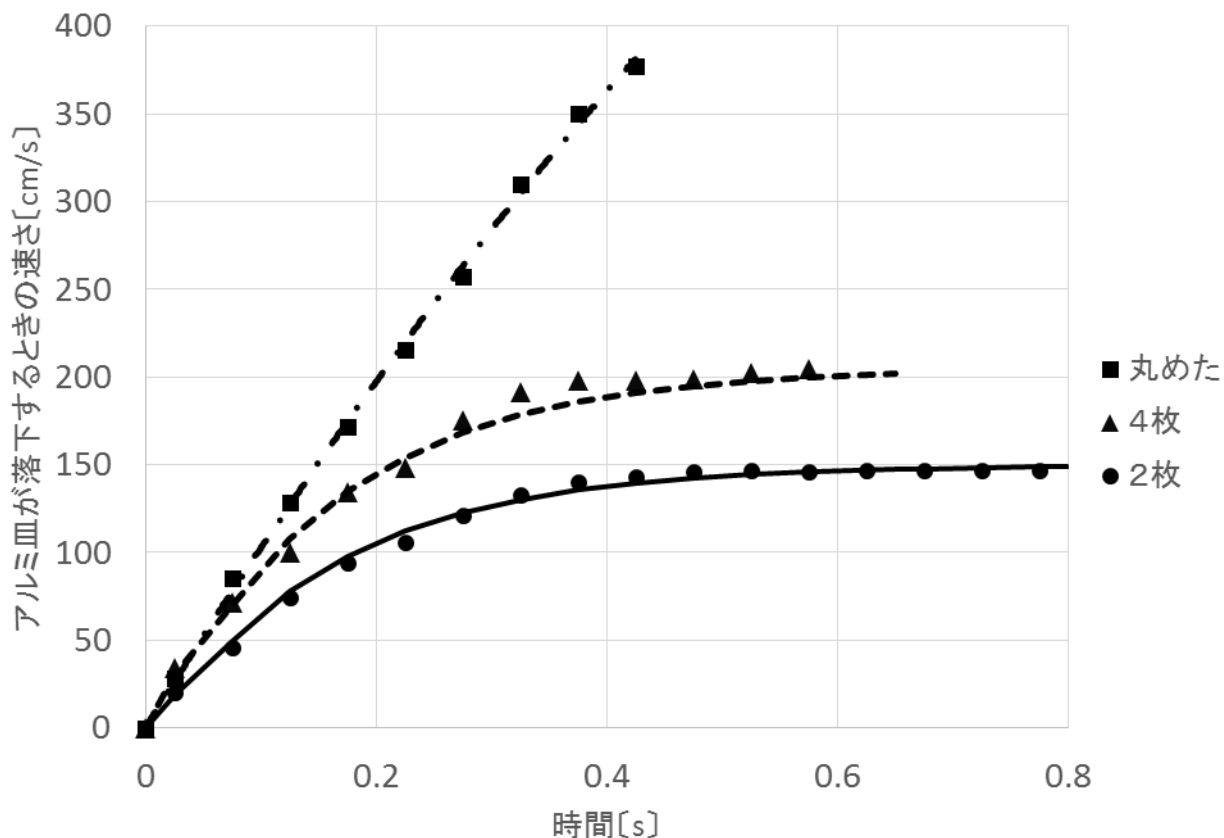


図2 アルミ皿が落下するときの速さの変化の比較

「物理図録」 数研出版 より作成

問1 図1のアルミ皿の落下の様子から、物体が速く落下する条件は何か。図1のアルミ皿の落下の様子から予測される条件を、実験を踏まえて60字以上150字以下で答えなさい。

問2 図2のグラフにおいて、アルミ皿2枚を重ねたものの落下するときの速さの変化の割合は時間とともに小さくなり、時間が経つと0に近づく。アルミ皿2枚を重ねたものの速さの変化のグラフが図2のようになる理由を、アルミ皿にはたらく力の大きさに触れながら80字以上120字以下で答えなさい。